

# 広島大学

令和4年度一般選抜(後期日程)・  
外国人留学生選抜C日程3月実施

## 解答例

科目名:総合問題

法学部 法学科

昼間コース・夜間主コース

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

〔I〕

問1

法律上の「権利」とは、人びとが秩序ある社会で生活できるように法律によって与えられ正当化されたものであるが、同時に法律によって奪うことができる。これに対して「人権」とは、法律や手続きによっては絶対に奪うことができない基本権である。これは自然権とも呼ばれ、神が自然とともにその一部として人間を造った際に神が人間に与えた権利であり、そのあとで人間がつくった政府や法律によっては奪えないというキリスト教文明の伝統に基づく。(207字)

問2

人権にはいくつもの種類があり、一般に「所有権」よりも「生命・身体の安全」のほうがより重要であるというような優先順位がある。そして、その優先順位の順番は必ずしも自明ではなく相互に矛盾する場合もある。しかし、政府が多くの人びとの基本的人権を十分守るようにする際、人権の一部を犠牲にしても基本的権利の「総和」、すなわち「公共の利益」を守らなければならない場合がある。もっとも、政府は「公共の利益」を理由にして自由に人権を制限することがあってはならず、人権制限の理由を論証する義務と責任がある。(244字)

問3

公共の利益のために人権が制限される事例としては、今回の新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックの非常事態における行動制限が思い浮かぶが、私たちが日常的に負担している様々な税金の支払いも、財産権という人権を犠牲にしているという点では同様ではないだろうか。私たちは憲法に定められた「納税の義務」に従い、ものを購入するときには10%の消費税を支払っているし、給与をもらっている大人は所得税を、企業も利益に応じて法人税を支払っている。このような「財産権」の犠牲はどのような理由で正当化されているだろうか。日本の政府や地方自治体は、納税で得られた財源をもとに、様々な政策を実行している。道路、鉄道、港湾などの交通インフラの整備、大学などの研究機関に対する財政支援などは、生活を快適にし、また社会を豊かに発展させることに役立つ。また、社会福祉などに税金が使われれば、所得の再配分によってより平等な社会を実現することにもつながる。このような政策の実行は、いくらお金をたくさん持っていようと、裕福な個人や大企業の立場や視点からは成し遂げられない公共の利益の実現であると言える。ただし、おさめられた税金が適正に活用されているかどうかは、透明性を持って説明されなければならないし、納税者は権利そして義務としてそのことを確認しなければならない。(559字)

令和4年度広島大学一般選抜（後期日程）

法 学 部

問題「総合問題」解答例

〔II〕

問1

英国でもはや法廷弁護士もかつらをつけていない。オーストラリアやカナダなどその他のイギリス連邦の国々でも、法廷からかつらを取り除く方向に動いている。しかし、アフリカの旧英国植民地では、少なくない裁判官や弁護士が未だにかつらをつけている。

問2

賛成する意見としては、法曹界の伝統である、裁判官の権威を高める、というものがある。反対する意見としては、多額の費用がかかる、威圧的で恐怖を与える、アフリカの気候に適していない、植民地主義の遺産である、かつらとともに英国植民地時代の抑圧的な司法を引き継いでいる、というものがある。

問3

ヨーロッパの統治が終わって以来、ほとんどの都市や通りは新しい名前を付けられた。2013年、ムガベはビクトリアの滝を「モシオアトゥーニャ」と正式に名称変更した。これはコロロ語で「雷鳴する煙」を意味する。

問4

ただ隠れ親英家だからという理由ではなく、法を抑圧の手段とし、権力と権威のシンボルを維持することで権力者が自らの地位を守ろうとしている理由であろうと推測し、よりずる賢いとしている。

問5

新しい憲法、新世代の裁判官、英国のコモンローに根ざしつつ自国の伝統と文化によって形作られている司法、時には政治的圧力にも抗う裁判所といったもの。